



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリー：変化をもたらす」 *Rotary: Making a Difference*

2017-18年度 RI会長／イアン H.S.ライズリー RI.D2590ガバナー／湯川 孝則 横浜旭RC会長／滝澤 亮

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



旭区民まつりにて熊本みかん販売



熊本自転車支援



ガールスカウトとクリーン作戦

2018年5月23日 第2336回例会 VOL. 49 No. 41

■司 会 副SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 会 長 滝澤 亮

■斉 唱 手に手つないで

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	26名
本日の出席率	96.30%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

福村

■他クラブ出席者

増田、宋（地区）

■ゲスト

沈 佳穎様（米山奨学生）

■会長報告

皆様こんにちは。前回の例会以降天気も良く暖かい日が続いております。本日は、退院後の検査、診察に行っていました。少しずつ体力も回復してきております。

■幹事報告

1) 新旧会長幹事会

日時 5月24日午後6時30分～

場所 新横浜国際ホテル

次年度ガバナー補佐、会長、幹事様の出席をお願い致します。

■ロータリー米山記念奨学会より

○米山奨学生への「ロータリーの友」ロータリーの友配布のお願い

これまで米山奨学生に直接当会より毎月発送して参りましたロータリー地域雑誌「ロータリーの友」を、発送ではなくクラブ会員皆様同様、世話クラブで直接お渡しいただくことになりました。

米山奨学生との交流を促進し、良き米山学友、ロータリー学友として育てていくために、今後とも御支援、ご指導のほどよろしくお願い致します。

■5分間情報

増田嘉一郎

○出光佐三「人を育てる」

今月の5分間情報は、出光佐三の言葉を取り上げる。同人の考える職業奉仕論であり、テーマは「ひとを育てる」である。

1) 出光の主義

出光は、石油業という些事をやっているのではない。出光の真の目的は、人間が真に働く姿を現して、国家社会に示唆を与えることである。

私は、石油供給を些事と言っている。社内から「些事とは何ですか。大企業をやっているじゃないですか」という抗議がでたくらいだ。けれども私は「石油供給なんてものはちっぽけなものじゃないか。私のやっているのは、人間というものはこうあるべきだということを実際に示すことだ。政治・教育すべてに人間のあり方を示すことをやっているのだ。」と

突き返している。

2) 経営の原点

出光の仕事は金もうけにあらず。人間を作ること。経営の原点は人間尊重である。世の中の中心は人間である。金や物ではない。その人間というのは、苦勞して鍛錬されて初めて人間となるのだ。金や物や組織に引きずられてはいけない。そういう奴を僕は金の奴隷、物の奴隷、組織の奴隷として攻撃している。

3) 人間尊重

出光商会の主義は、第一は人間尊重であり、第二、第三も人である。出光商会はその構成分子である社員の人権を尊重し、陶冶し、鍛錬し、かくして完成強化される個々の人格を、更に集団し、一致団結し、団体的偉大なる威力を発揮し、国のため、人のために働き抜くのが主義であり、方針である。

人間の作った社会である。人間が中心であって、人間を尊重し自己を尊重するのは当然過ぎるほど当然である。種々の方針や手段はこれから派生的に出てくるのである。

4) 失敗は授業料

人間なら誰だって過ちがある。僕が過ちをやってもとがめられず、社員がやるととがめられるという法はないと思う。

それだから、人間らしい過ちはとがめない。ただそこで忘れてはならないのは、後で自己を反省する心のあり方だ。反省する心の積み重ねがあって、はじめて失敗は尊い経験となって生きてくる。したがって失敗はその人にとって尊い授業料となりうる。そこに進歩がある。

5) 徹底的親切心

今後の社員指導は如何にするや、社員に対し徹底的な親切なる心を有すること、身をもって範を示すこと、に尽きるのである。

付焼刃の新設や、鍍金の新設では駄目である。親切は徹底せねばならぬ。上下、同僚間に気兼や遠慮があるようでは、親切は決して徹底しない。肉親の兄弟を鞭打つ以上の打ち解けた親切であらねばならぬ。誤解を恐れたり、自分の立場を考えるようでは、人に親切はできない。生半端な親切ならせねばよい。却って威厳を損し、秩序を乱して不親切なる結果を来すことになる。寧ろ不徹底な親切は

止めて、高圧的に圧迫した方が未だ結果がよいと思う。

6) 自問自答

去年の新入社員は、社員教育によって、出光人というのはどういうものかということを手自発的に自問自答を始めたから、もう大丈夫だ。自分に質問して自分に答える。これは自分のものになるということだ。本を読んだり、人に教えられたものは、自分のものにならない。

7) 実行有言

空理空論では駄目だということだ。「有言不実行」ということは、何もせんということだ。だから実行しなければだめだということ、一般の通論となっている。黙って実行せよというのが「不言実行」だ。実行に重きをおいたのだ。一般の社会では黙って実行せよということになっている。ところが出光は「不言実行」で黙っておってはいかん。実行してそれをもって人に示唆を与えるのだ。これが「実行有言」だ。実行して人にこうしなさいといえるのが出光じゃないか。示唆を与えるのだ。

8) 努めて難関を歩め

僕は努めて難関を歩めということを書いてきた。ある目標に達する時に、イージーゴーイングすれば、すぐに達しられる道がある。これは経済学の教えである。

けれども僕は努めて難関を歩けということを書いて、経済学の原理でとは反対の行動をとってきた。なぜかといえば人間の目標は、ここにあるのではない。その先の先にある。

イージーゴーイングをやって、ここにきた人は、ここまで難関を歩いてきた人と一緒であるが、この先にはまだ難関がある。その時にはもう登れない。これは金持ちの坊ちゃんと一緒に、人間としての力がない。努めて苦勞を味わう。

これが人間として大切なことである。これを僕は教えてきた。

投資で金儲けはやらないという経済原理に反することを言ってきたから、明治、大正、昭和の初め、いわゆる資本の全盛期時代には極端に苦しんだ。その苦しみが今日の出光をつくる大きな基礎である。

■ニコニコ BOX (会員敬称略)

田川 富男／第5回最終クラブ協議会宜しくお願ひします。

兵藤 哲夫／サラリーマン川柳の発表がありました。①効率化 進めて気付く 俺が無駄
②ノーメイク 会社入れぬ 顔認証③電子化
について行けず 紙対応

宋 謹衣／そろそろ梅雨季節に入ります。
鬱にならないように気をつけます。

須藤 亘／雨が降ってきました。梅雨入り
ももうすぐでしょうか。季節の変わり目です
ので、どうぞご自愛下さい。

大川 伸一／この2ヶ月で3回メーキャップ
に行かせてもらっています。いろいろ勉強に
なります。

柳沢 哲也／昨日、磯子CCでゴルフコンペに
参加しました。34人中ビリでした。鶴ヶ峯に
いるうちに、もっと上手になりたいと思いま
す。

北澤 正浩／本日のクラブ協議会、よろしく
お願ひ致します。

吉原 則光／またまた天候不順雨模様のと
ころの例会です。今年度最後のクラブ協議会、
楽しみにしております。各委員会の発表者は
原稿の提出をお忘れなく！（会報委員会より）

安藤 公一／クラブ協議会、宜しくお願ひ
します。

■クラブ協議会

SAA／五十嵐正

計画書に記載しました内容でほぼ順調に推
移しております。ただ、会場設営に関して、
旗の取付作業が、身長のある北澤さんの独壇
場ですので、出来れば誰にでも出来る方法を
考え、次年度にバトンタッチをして行きたい
と思います。

クラブ奉仕／佐藤真吾

今年度は「寛容の心」と「和の精神」を基
本理念として、クラブ奉仕の各委員会に活動
していただきました。後ほど各委員長からご
報告があるかと思いますが、おおむね順調に
活動していただけたのかなと考えています。

特に、4/25に行われた体験例会では、13名
のゲストの皆様をお迎えして、これまでにな
い大変活気のあった体験例会となりました。

ご尽力いただいた会員の皆様、有り難うござ
いました。今回の体験例会にご参加いただい
た方の中から、一人でも多くの仲間を増やす
ことができるよう、会員増強委員会を中心と
して、引き続きフォローをお願いします。

出席委員会／大川伸一

各委員のご協力で円滑な業務を行う事がで
きました。高率の出席率を維持出来ました。
残り約1ヶ月も会員皆様のご協力をお願い
します。

親睦委員会／後藤英則

計画書に掲げました行事に関しましては、
ほぼ順調に推移し、AKSコンペは、安藤会員
のご尽力で滞りなく開催されました。また、
落語を聞く会では、佐藤真吾会員のご好意に
より馬車町関内ホールで行われました不動産
協会のイベントに相乗りさせて頂き、会員の
参加者は少なかったのですが、無事に終了致
しました。

恒例になりました、川崎ナイト競馬観戦ツ
アーには、本年も多数の会員・家族・友人が
参加され、大変楽しいひと時を過ごせました。

クリスマス移動例会は、例年になく大勢の
皆様に参加申し込みされましたが、会場の都
合で申し込み期日後に参加希望をされた会員
家族の皆様には会場の都合上席のご用意が
出来ず、ご迷惑をお掛け致しましたこと、お詫
び申し上げます。

大岡川を屋形船で遊覧する計画では、本年
の桜の開花が例年になく早かったため、予定
しておりました日程では葉桜状態になってしま
うとの船宿からの連絡で、大変残念ではござ
いりますが、泣く泣くキャンセルといたしました。
以上報告いたします。

会報委員会／吉原則光

前回のクラブ協議会1/24～本日まで14回
の例会の会報発行も計画通り実施できました。
各回の原稿提出も順調で滞りはありません。
今後最終例会まで5回を残すだけです、ス
ムーズにいくと思います。

会報の今月担当の本山委員が3月末で退会
されたので、青木・大川両会員に補填をお願
いしました。又、柳沢新会員には6月の担当
を予定しております。

研修・広報&雑誌委員会／齊藤善孝

①研修については、例会時の5分間情報の場で奇数月は世の中に貢献した人物を、偶数月は自由演題にして、それぞれの会員に発表してもらいました。残りあと一か月ですが各会員の協力により計画通り実施できています。

②広報については未実施です。

③雑誌については、月別に担当者を決めて「ロータリーの友」を紹介してもらい計画通り進捗しています。

会員増強委員会／内田敏

①4月25日、第2回体験例会に中田幸子様を迎えて、13名の体験例会出席者にて開催されました。

②5月9日、本山会員の後任に柳沢様に入会して頂きました。

会員選考委員会／吉原則光

今年度選考の三本柱（通常例会出席可能・人間的に社会性がある・評判の良い職業人）にもとづき、当ロータリーにふさわしい人を選びました。その結果、本年度4月に柳沢哲也氏の入会を認定しました。

なお当委員会のメンバー安藤達雄会員が、本年2月に死去されました。心からお悔やみ申し上げます。

プログラム委員会／市川慎二

今年度はプログラムの変更が多数あり、大変ご迷惑をお掛け致しましたが、会員皆様のご協力、ご理解のおかげで無事にプログラムをすすめられました。残期も宜しくお願い致します。

社会奉仕委員会／北澤正浩

①旭ふれあい区民まつりへの参加

10月15日に開催された旭ふれあい区民まつりには多くの会員にご参加いただきました。岩沼RCより送っていただいた新米をお客様にお買い上げいただき、天候の影響で多少の在庫が発生いたしました。会員の皆様のご協力もあり完売いたしました。

②災害対策委員会への協力

東日本大震災被災地のこども達へクリスマスプレゼントを寄贈しました。こども達の沢山の笑顔を見る事が出来、有意義な活動だったと思います。

③チャリティーコンサート部会への協力

1月に開催されたコンサートで被災地の写真掲示、募金活動等にお手伝いさせていただきました。

④がんセミナーへの協力

3月24日に大川会員が中心となり開催されたがんセミナーでは、微力ながら準備等でお手伝いさせていただきました。

⑤みなとみらいチャリティーマラソン大会への参加

2月10日に開催されたチャリティーマラソン大会へスタッフとして参加いたしました。今回のチャリティーマラソンは「ポリオ撲滅・障がい者支援」を目的としており社会奉仕委員として重要なイベントだと感じました。

社会奉仕委員会の活動に多くの会員の皆様にご協力いただいたことを感謝いたします。

職業奉仕委員会／増田嘉一郎

1/10に職業奉仕フォーラムを実施いたしました。ここ一年余りの間「ロータリーの友」誌で議論されている我が国ロータリアンの理解する伝統的職業奉仕論と、他国で考えている五大奉仕の一つと考える職業奉仕論に着目し、職業奉仕について考えてみました。我が国のロータリアンは職業奉仕をロータリーの根幹と考える伝統的職業奉仕論を維持しつつ、世界のロータリーに貢献することになるでしょう。

後期は、各委員が、日本のロータリーの考えている伝統的職業奉仕論をいかに実践していくかの時間となります。

活動計画書に記載した活動テーマ「事業の『安全と安心』～特に安心対策」について、職業奉仕の観点から見える形で実行している事業所を見学したいと考えていますが、適切な事業所が見当たらず、これ迄実施できていません。

青少年奉仕委員会／新川尚

①インターアクトクラブ提唱について、県立旭高校と折衝していますが、現時点では目処が立っていません。

②ガールスカウト第102団との二俣川クリーン作戦を、今年度も4月14日に行いました。

また、5月9日の例会に吉田ガールスカウト団長にお越し頂き、ガールスカウトの現状

についてお話いただきました。その際に、活動資金として2万円お渡ししました。

③青少年交換交換について、ホストファミリーを要請されていますが、現時点では対応できる目処が立っていません。

④子どもの貧困問題については現時点では活動が進んでいません。

国際奉仕委員会／青木邦弘

①9月9日10時から二宮さん宅で、茶会を行いました。参加者は横浜市への留学生、先アフリカ、中国等からの6人と日本語学校から3名、旭ロータリークラブから5名、そして付き添い等合計16名の参加があり、盛大に行われました。

②宋さんの熱き想い「外国人への日本語支援」について、取り組みを始めました。現在、旭区には約2,000人の外国人がいると言われていました。失敗の連続でしたが、みなくるを中心に活動されている「旭・日本語ボランティア」に対して、教材費3万円を補助、春には桜見学と日本の文化を知るために、バスツアーを企画し実施。現在、二宮さんと宋さんが日本語の先生として同ボランティアで活動しています。

③2月7日、国際奉仕フォーラムで、横浜市教育委員会、外国人子供教育「ひまわり」の責任者甘粕様に卓話をしていただきました。また、ひまわり活動支援として、教材費用を地区財団補助金の申請をしています。補助金が交付されるのは次年度ですので、教材費用は次年度の計画にお願いします。

今年度は国際奉仕活動として、一つの方向を出すことが出来たと思います。

ロータリー財団委員会／田川富男

会員の皆様のおかげで、財団寄付も順調にされていますがただ、一部の方に年間目標額に届かない方が数人、残っていますのでご協力の事、お願い致します。

11月のロータリー財団フォーラムにおいて、地区財団委員長の財団卓話で話されたように、皆様の寄付行為が3年後の活動資金として活用されることに成ります。今後ご協力の事、宜しくお願い致します。

災害対策委員会 - 安藤公一

活動計画書の中で実施したものは以下のものです。

①被災地子供支援：

6年間続けている東日本大震災被災地の子ども達へのクリスマスプレゼント寄贈を岩沼RCのご協力の下、12月20日21日の2日間実施した。今後も岩沼RCがご協力頂ける限り続けて行きたい。

②被災地物品の販売：

2017年10月15日の旭区民まつりにおいて被災地産のお米の販売を実施した。当日あいにくの雨であったが、社会奉仕委員会のお蔭と会員各位のご協力により完売。

③被災地写真の展示：

災害を忘れず被災地に寄り添う意識を向上するため、1月のチャリティーコンサート時、旭区民まつり時に被災地写真の展示をし、募金を集めた。

④災害被災地復興支援活動：

昨年度実施した熊本への放置自転車の寄贈プロジェクトの次の一手を被災地RCと共に考え実行していく⇒実行できなかった。

⑤会員安否確認、方法の徹底：

昨年度2回実施し、本年度も実施する予定。今後も時期をみて、いざという時に実際に使えるレベルに到達するべく訓練を重ねる

⑥災害準備金積立開始：

地区に働きかけると同時に当クラブ独自の基金の設立を目指す。今後議論を重ね、運用ルール制定、基金設立を目指す。未だ検討できていない。来期にかけて継続的に検討を重ねて行きたい。

チャリティーコンサート部会／新川尚

①31の企業、団体、個人から合計53万円の協賛金をいただきました。

②募金は83,708円集まりました。

③報告書記載の通り、年々このチャリティーコンサートの開催意義が生徒たちに浸透してきており、その教育意義は経費以上のものであると、区長をはじめ、関係者から評価を頂いております。

■次週の卓話

青少年奉仕フォーラム 新川 尚会員
週報担当 大川 伸一

平成30年度4月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	安藤公一	100	25	125	21	齋藤善孝	100	25	125
2	青木邦弘	75	25	100	22	佐藤真吾	100	0	100
3	福村正	100	0	100	23	佐藤利明	100	0	100
4	後藤英則	100	0	100	24	関口友宏	100	0	100
5	兵藤哲夫	-出席規定免除-			25	宋謹衣	50	50	100
6	市川慎二	100	25	125	26	須藤亘	100	25	125
7	五十嵐正	100	0	100	27	田川富男	100	25	125
8	北澤正浩	50	50	100	28	滝澤亮	25	0	25
9	今野丁三	-出席規定免除-			29	内田敏	-出席規定免除-		
10	倉本宏昭	-出席規定免除-			30	矢田昭一	-出席規定免除-		
11	増田嘉一郎	75	50	125	31	吉原則光	-出席規定免除-		
12	目黒恵一	100	0	100	32				
13	本山雄三	25	0	25	33				
14	新川尚	100	75	175	34				
15	二宮麻理子	75	25	100	35	高梨昌芳	名 誉 会 員		
16	二宮登	100	0	100	36				
17	岡田清七	-出席規定免除-			37				
18	太田勝典	-出席規定免除-			38				
19	太田幸治	-出席規定免除-			39				
20	大川伸一	75	25	100	40				
例会日	4日		11日		18日		25日		平均
例会出席率	$\frac{25}{28}$	89.29%	$\frac{21}{27}$	77.78%	$\frac{23}{27}$	85.19%	$\frac{24}{27}$	88.89%	96.37%
修正出席率	$\frac{26}{28}$	92.86%	$\frac{27}{27}$	100%	$\frac{26}{27}$	96.30%	$\frac{26}{27}$	96.30%	96.37%